

平成31年度

施政方針

(抜粋)

府中町長 佐藤 信治



平成31年度は、平成30年7月豪雨災害により被災した公共施設を着実に復旧するとともに、被災者支援や防災・減災対策を行い、広島県が実施する砂防・治山事業等と合わせて、災害に強い「安心・安全なまちづくり」を推進していきます。

また、今年度は「第4次総合計画」の4年次目、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終年度となります。これらに掲げた政策、施策、事業を着実に実施し、町民の皆さまにお約束した3つの宣言、「広島都市圏で一番の子育てしやすいまち」「志を育む教育のまち」「バランスのとれた行政施策の展開」に加え、行政の最適化を目指し、年度当初に大規模な機構改革を

行い、より効率的で質の高い行政運営を行うことにより、着実なまちづくりを行っていくための予算を編成しました。

平成31年度予算

一般会計は、前年度比4・8%増となり、歳入歳出予算総額は、176億9千1百万円となりました。

国民健康保険特別会計ほか3つの特別会計と一般会計との合計額は、前年度比2・4%増の270億7千7百万円に、平成31年度から公営企業会計となつた下水道事業会計は、支出の合計が25億4千3百万円の予算としました。

一般会計歳入

世界的な景気減速傾向の中、法人町民税は減額を見込んでいます。マンションや新築家屋の増加による固定資産税の増額が見込まれるものの、町税は、前年度比4・3%減の74億9千7百万円を計上しています。

これに対し、前年度の法人町民税が減額となったことなどを反映し、地方交付税および臨時財政対策債は、合わせて1億5千3百万円の増加を見込んでいますが、なお不足する財源を確保するため、減収補てん債1億1千7百万円と、財政調整積立基金繰入金1億9千6百万円による財源不足対策を行った予算としました。

一般会計歳出

平成31年度に執行する災害関係予算は、平成30年度からの繰越見込額を合わせると、8億8千6百万円に上ります。水分峡森林公園や榎川等の護岸などの復旧工事等を行うとともに、被災者支援として「地域支え合いセンター」の体制を強化します。防災・減災対策として、総合防災マップを更新するほか、災害情報伝達方法の拡充として、安心安全メールの多言語化やSNSを活用したブッシュ型配信を導入します。さらに、要支援者の避難行動支援システムの導入、災害備蓄品の年度計画策定などを行います。また、これらの施策の着実な実施と防災対策の機能強化を目的に、機構改革では、新たに危機管理課を創設し、安心・安全なまちづくりを推進します。

その他のハード面では、保育所等の施設整備への助成、「府中公民館等改築事業」の工事着手のほか、「向洋駅周辺土地区画整理事業」、「公共下水道事業」を推進するとともに、南小学校のトイレ改修工事を行い、北小

学校と東小学校のトイレ改修工事の設計をします。

都市基盤の整備として、道路新設改良、橋りょう長寿命化を進めます。補助街路整備事業では、みくまり北小学校線の整備を完了し、みくまり14号線の整備を行います。また、青崎東町営住宅の屋上防水改修工事を行います。さらに、平成32年3月から開催される全国都市緑化ひろしまフェアのスポットイベント会場となる空城山公園の、遊具の整備等を行います。

3つの宣言に係る施策

①「広島都市圏で一番の

子育てしやすいまち」

「子ども見守り支援サポート事業」を立ち上げ、さまざまなリスクを抱える子どもたちを、多面的・継続的に把握、見守り支援する仕組みを構築します。母子健康診査事業では、新たに産後間もない時期の産婦に対する健康診査に係る費用を助成します。また、町内の保育所等を対象に、乳児の事故防止対策事業として、午睡中のブレステックをするための無呼吸アラーム等の経費を補助します。



町道・榎川護岸復旧工事

また、広島県の朝ごはん推進モデル事業として開始した「府小つ子モーニングビュッフェ」を、事業実施団体と協力し実施していきます。

②「志を育む教育のまち」

引き続き学校運営改善推進事業を実施し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の重点配置を継続します。既に4校に県費で配置されているスクールサポートスタッフを、町費で拡充して全校配置とします。更に、校務支援システムを導入し教職員の事務負担軽減を図り、子どもと向き合う時間の確保に努めます。また、グローバル教育を推進するため、中学校全学年での英語検定費用の助成を継続し、外国語指導助手（ALT）の派遣時間を増やします。

③「バランスのとれた

行政施策の展開」

医療と介護の連携を図り、高齢者の介護予防・健康づくりの普及啓発や地域の自主的な活動を支援する在宅医療・介護連携推進事業を強化します。

町公式ホームページでは、多

言語ユニバーサル情報配信ツールを導入し、言語にとらわれない、誰にでも読みやすく伝わりやすい情報発信を行います。

町の魅力発信では、さまざまなメディアの活用を進め、新たなPR動画を作成します。また「神武東遷の道」が日本遺産に認定された際は、府中町の新たな見どころとして、町内外にPRをしていきます。

さらに、笑顔の役場創出の一環として、機構改革に合わせ、誰もがわかりやすく使いやすい窓口となるように、役場2階を大幅に改装します。その他、男女共同参画、人権施策の推進、健康づくりなど幅広い住民ニーズに対応するバランスの取れた行政施策を展開する予算としました。

誰もが良さを実感できる町に

これらの諸施策でしっかりとした成果をあげ、誰もが「住んでよかった」「これからも住み続けたい」「住んでみたい」そう実感できる府中町をめざして、精一杯取り組んでいきます。町民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※全文は町ホームページに掲載しています。
(まちの財政／平成31年度／施政方針)

住みよい まちづくりの ための 施設整備

新規

保育所等 創設助成事業 2億2122万6千円

潜在的待機児童の解消に向けて、平成30年度に公募・決定した保育所等設置・運営事業者が行う施設整備に対して助成を行います。

府中公民館等 改築事業 3億3073万2千円

府中公民館および歴史民俗資料館の建て替えに向けて、実施設計を進め、仮設府中公民館への引越完了後は、府中公民館解体、改築工事に着手します。

向洋駅周辺土地 画整理事業 3億9369万4千円

向洋駅周辺の整備に向けた物件移転補償および画地整備工事等を行います。

拡充

公園改修等事業 1684万7千円

平成32年3月から開催される全国都市緑化ひろしまフェアのスポットイベント会場となる空城山公園を整備。遊具の設置や植栽等を行います。

新規

町営住宅改築等 事業 1256万4千円

町営住宅長寿化計画に基づき、青崎東町営住宅1号棟および2号棟の屋上防水改修工事を行います。

拡充

住環境改善事業 283万9千円

木造住宅の耐震診断・改修やリフォームに係る費用を補助します。また、倒壊の危険性が高いブロック塀の撤去費用を補助します。

小学校施設改修等 事業 1億5092万4千円

府中南小学校のトイレ改修工事（洋式化）を行います。また、府中北小学校と府中東小学校のトイレ改修工事の設計を行います。

「志を育む教育のまち」を目指して

拡充

グローバル教育事業 1366万1千円

グローバル社会に挑戦する児童生徒を育成するため、外国語指導助手の派遣時間を増やします。また、中学校全学年の英検費用を助成するとともに、小学校では英語教育教科化などに伴い非常勤講師を拡充します。

拡充

学校運営改善推進 事業 2276万5千円

学校運営改善に向けて、教職員に研修を行うなど、児童生徒一人ひとりにしっかりと向き合う教育を推進します。また、スクールサポートスタッフを拡充して全校に配置します。

「バランスのとれた 行政施策の展開」を 目指して

拡充

広報公聴事業 1055万3千円

広報紙、ホームページの記事内容の充実を図るとともに、多言語ユニバーサル情報配信ツールを導入し、誰にでも読みやすく伝わりやすい情報発信を行います。

拡充

魅力発信事業 743万5千円

当町の住環境などの魅力を多様なメディアを活用し町内外へ効果的に発信し「住んでよかった、住んでみたい」まちとしての認知度の向上を図ります。

在宅医療・ 介護連携推進事業 635万8千円

高齢者が生きがいをもって生活できるよう、介護予防と健康づくりに関する知識の普及・啓発や、地域で自主的な活動を育成・支援する仕組みづくりを行います。

平成31年度

主要事業

問 財政課財政係 ☎ 286 - 3132

災害に対する取り組みや施設整備、町長の「3つの宣言」に係る主な取り組みなど、今年度実施する主な事業をお知らせします。

災害に対する 取り組み 災害復旧、災害対策、 被災者支援など

庁舎改修等事業 1億7714万9千円

地震等の災害が発生した場合でも適切に業務を進めるために必要な設備である役場庁舎および消防庁舎の非常用自家発電設備を更新します。

新規

被災者援護事業 682万3千円

平成30年7月豪雨の被災者の支援窓口である府中町地域支え合いセンターに、新たに専任の職員を配置し、被災者へよりきめ細やかな支援を実施します。

新規

被災者住宅支援 事業 191万3千円

平成30年7月豪雨災害により住宅が被害を受けた被災者に対して、応急仮設住宅の無償提供や住宅の応急修理の費用負担を行います。

災害対策事業 1008万9千円

防災・減災の意識高揚を図るため、平成26年4月に作成した総合防災マップを更新します。また、防災力の向上を図り職員研修を実施します。

拡充

防災事業 368万8千円

災害に備え、毛布や飲料水、食糧等の計画的な備蓄を引き続き行います。また、地域防災力の向上のため自主防災組織の活動費等の助成を拡充します。

新規

清掃施設災害復旧 事業 1545万2千円

平成30年7月豪雨災害により損壊した、環境センター内リサイクルセンターと環境センター敷地を囲むフェンスの復旧および法面整形の工事を行います。

新規

林業施設災害 復旧事業 9000万1千円

平成30年7月豪雨により崩落した呉娑々宇林道5か所および長尾林道1か所の復旧工事を行います。

新規

土木施設災害 復旧事業 1億4300万円

平成30年7月豪雨により崩落した、水分峡森林公園6か所、揚倉山健康運動公園2か所、町道総社跡水分線の復旧工事を行います。

新規

河川施設災害 復旧事業 200万円

平成30年7月豪雨により損壊した河川施設（町道総社跡水分線と榎川の兼用護岸）の、復旧工事着手までに必要な応急補修を行います。

「広島都市圏で一番の 子育てしやすい まち」を目指して

新規

子ども見守り支援 サポート事業 1815万円

全ての子どもたちが健やかに成長し、夢や希望を育める環境を整備するため、関連部門・機関が連携し、リスクを抱える子どもたちを支援する仕組みを構築します。

病児・病後児保育 事業 1800万円

病気・病後の子どもを病児保育室で預かり、育児と就労の両立を支援します。県内では本町でのみ実施している「送迎サービス」を引き続き行います。

プラチナ保育支援 事業 324万円

保育所等に代わって、近居（同居）の祖父母（プラチナ世代）が児童を保育する場合に、保育手当を支給します。

平成31年度 当初予算

問 財政課財政係 ☎ 286 - 3132

一般会計と特別会計の予算と前年からの増減率

区 分		平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
一般会計		176億9140万4千円	168億8485万7千円	8億654万7千円	4.8%
特別会計	土地取得	1万1千円	1万1千円	0円	0.0%
	国民健康保険	47億9046万5千円	49億8407万4千円	△1億9360万9千円	△3.9%
	介護保険	38億4848万2千円	38億4401万9千円	446万3千円	0.1%
	後期高齢者医療	7億4646万6千円	7億1767万7千円	2878万9千円	4.0%
合計		270億7682万8千円	264億3063万8千円	6億4619万円	2.4%

公営企業会計の予算 平成31年度から下水道事業が公営企業会計に移行します。

区 分	平成31年度
公営企業会計（下水道事業）	25億4289万5千円 （支出の合計額）

一般会計予算の構成

用語解説

【歳入】

町 税 町民税・固定資産税・都市計画税等、みなさんが納めるお金

町 債 施設や道路の整備など多額の費用がかかる場合に、国や銀行などから借りるお金

国 庫 支出金 公共・福祉事業など特定の目的を行うために国から交付されるお金

【歳出】

民生費 福祉の向上や子育て支援などに使うお金

公債費 過去の町債（借りたお金）の返済に使うお金

土木費 道路・橋・町営住宅などの整備、維持に使うお金

総務費 行政運営・税徴収や戸籍・住民票の事務などに使うお金

教育費 学校教育やスポーツ振興などに使うお金

衛生費 健康・環境・ごみ処理などに使うお金

消防費 消防活動・災害対策などに使うお金

